



エル君

けんこう福袋



ビーちゃん

2023年

2月

第47号



ぬくもりの薬局

ラッキーバッグ株式会社

〒996-0021 山形県新庄市常葉町1-32

TEL. 0233-29-8177



ドクターアドバイス



胃腸炎

冬から春にかけて流行する“おなかの風邪”、感染性胃腸炎。みなさんは大丈夫ですか？今回は胃腸炎のお話です。

感染性胃腸炎って？

感染性胃腸炎の原因となる病原体には、ウイルスや細菌などがありますが、この時期はほとんどがウイルスによる胃腸炎です。感染力の非常に強いノロウイルスはその代表格です。吐き気やおう吐、下痢、腹痛、発熱がよくみられる症状です。病原体がついた手で口に触ったり、病原体がついた食べ物を食べたりすることで感染します。



治療は？

ウイルス性胃腸炎の場合、原因はウイルスですので、細菌を殺す抗生物質は効果がありません。特効薬は存在しないので、症状に応じた対症療法を行うことになります。下痢やおう吐で失われる水分や電解質を補給することが大事です。口から水分が摂れるようならまずはひと安心。慌てず

すがはら内科クリニック

菅原 心平 先生（消化器内科） 山形県新庄市沖の町4番19号



令和4年11月オープン。消化器内科がご専門で、クリニック内で内視鏡検査・超音波検査を受けることができます。

こまめに水分を補給しながら経過をみていれば、数日で症状は良くなってくるはずですよ。

こんなときは要注意！

- ・口から水分が摂れない
- ・血便が出た
- ・乳幼児、高齢者の胃腸炎

このようなときは、早めに医療機関を受診することをおすすめします。



予防が大事！

病原体が手や食べ物を通じて体内に入ることによって感染しますので、手洗いが特に大切です。トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。感染予防を徹底して流行の時期を乗り切りましょう！



今月のテーマ

胃腸炎のときの水分摂取



沖の町薬局

令和4年11月オープン！

初めまして、沖の町薬局 管理薬剤師の万條です。

私からは、胃腸炎の時の水分摂取方法に関してお伝えいたします。

おすすめは何といっても大塚製薬の経口補水液OS-1！最

近青リンゴ味も出ましたよ。

「水分補給を」とよく言われますが、正確には水分+電解質(ミネラル)の補給が必要です。OS-1はこれ一本で水分と電解質がもっとバランスよく摂取できるので、嘔吐や下痢で失った水分と電解質の補給に最適です。夏は熱中症にも！でも…飲みすぎはいけません。

学童～成人（高齢者含む）	1日あたり500～1000mL
幼 児	1日あたり300～600mL
乳 児	1日あたり、体重1kgにつき30～50mL

これが目安になります。1回で多く飲むのではなく、少量ずつ小分けにして摂取します。

水分で飲むことがつらいときはゼリーもあります！

それでも口から飲むことが難しい方は、すがはら先生からも説明があった通り受診をオススメいたします。

水分が摂れない、薬が飲みづらい、薬の味が嫌い、服薬のタイミングが取りづらい。

上記の相談は薬剤師の得意分野ですので、解決方法を一緒に考えましょう。

薬局に来るのが難しい場合は、電話でもKakariでもInstagram(最近始めました！)

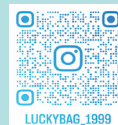
でもご相談いただけます！

薬剤師・薬局のご活用を社員一同、心よりお待ちしております。

沖の町薬局（薬剤師） 万條崇晃



ラッキーバッグの Instagramはこちら→



LUCKYBAG_1989